

パークマネジメントプランの検討について

1. 検討の背景
2. 検討の目的
3. 検討の進め方について

1. 検討の背景(第3回委員会報告内容の振り返り)

✓ 現状【本編P11-13】

- 茨木市には都市公園122箇所、児童遊園298箇所が存在
- 大小様々な公園が各地域に存在するが、その配置状況は地域ごとに異なる

✓ 課題【本編P42】

- 公園施設の老朽化や樹木の老木化などによる維持管理費の増大
- 人口特性や環境の変化に伴う市民ニーズの変化への対応



公園の魅力化と維持管理の効率化を目指したパークマネジメントを進める

- 地域特性に応じた公園機能の適切な配置
- 多様な主体による利活用の促進

1. 検討の背景(第3回委員会報告内容の振り返り)

✓ 利用実態調査について(結果)

- 利用者が一人も見られなかった公園が複数存在
- 利用者が見られなかった、または少なかった公園はいずれも小規模な公園(300㎡以下)であり、近接した場所に他の公園が複数存在
- 一方で、比較的大きな公園に利用者が集中
- 限られた遊具や広場を多様な世代が利用するなど、利用の現状とニーズが合致していない状況



1. 検討の背景(公園利活用の取組)

✓ 公園利活用について

- 「みんなの公園アイデア & やってみるワークショップ」(令和6年度)を開催。ワークショップで出されたアイデアを実際に西河原公園や元茨木川緑地で実施。
- 公園緑地の空間活用に関する様々な社会実験イベントを実施。



2. 検討の目的

✓ 検討の目的（基本計画に記載の内容）

具体施策(7)公園・緑地等の整備・管理運営 ①公園・緑地の整備・再整備・管理運営
地域特性に応じた公園機能の適切な配置や、多様な主体による利活用の推進等により、みどりのオープンスペースである公園の多機能性を効果的かつ効率的に発揮させ、公園の魅力向上を図ることを目的としたパークマネジメントプランの策定を検討し、生活圏域での公園機能の充実、維持管理の効率化を図ります。

以下の項目について方針を定め、
パークマネジメントを計画的に進めていく。

①公園の機能・役割の見直し方針

機能特化と役割分担による公園機能の適切な配置について

②多様な主体による利活用の推進方針

利活用を推進するプラットフォームの形成に向けた取組について

③拠点公園の再整備や管理運営に関する方針

民間活力の活用に関する方針などについて



**公園の多機能性を
効果的かつ効率的に
発揮させ、
公園の魅力向上を図る**

3. 検討の進め方について

令和7年度 利用実態調査(試行)を実施

令和8年度 公園の現状とニーズの把握、課題の整理

公園の現況把握

- 整備状況、配置状況、施設状況、周辺状況、地域特性など

モデル地区における利用実態調査

- 令和7年度の試行結果をふまえて実施

市民アンケート調査

- 公園の利用状況、ニーズなどを把握

課題等の整理

令和9年度 計画素案の作成

計画素案に記載する方針(案)

- 公園の機能・役割の見直し方針
- 多様な主体による利活用の推進方針
- 民間活力の活用に関する方針
- 具体化方策 など

パブリックコメントの実施

パークマネジメント計画の策定

有識者や市民の意見を取り入れながら
計画策定
(ワークショップ等の実施)

令和10年度 計画に基づく取組の展開